

大和大学教育の目的・3つのポリシー

■教育の目的

グローバル化や高度情報化、少子高齢化など現代社会は日々急激な変化を遂げています。この激動の時代において、社会が要請する人材を育成することは高等教育機関である大学の社会的責務といえます。本学はそのような認識に立ち、教育の目的を次のように定めます。

高い専門性と幅広い視野を授けるとともに、豊かな人間性を涵養し、一人ひとりの「ひと」を見つめ、学術文化の向上と社会の発展に貢献しようとする人材を育成することを教育の目的とする。

さらに、各学部等の教育の目的を以下のように定めることとします。

〔教育学部〕

教育学科のもとに、初等幼児教育専攻、国語教育専攻、数学教育専攻、英語教育専攻の4つの専攻を置き、子どもの「生きる力」を学校教育の場で育む教員を養成することを目指します。基礎的な教養を偏りなく身に付けるようにするとともにそれぞれの専攻における教育の専門職に求められる高度な知識及び技能を授け、さらに、豊かな人間性と開かれた社会性を涵養し、教育に対する強い情熱を持って自ら学び続けようとする態度を養う。このように教員に求められる資質・能力を備え、教育保育分野に貢献する人材の育成を教育の目的とします。

〔保健医療学部〕

看護学、理学療法学、作業療法学、言語聴覚学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、十分な知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことができる応用能力と豊かな人間性・社会性を備えた看護師、保健師、助産師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等の人材を育成することを教育の目的とします。

〔政治経済学部〕

広い教養と倫理観の上に政治、経済の各分野を広く俯瞰する視点を獲得し、さらに各分野における豊かな専門的知識・理論に裏打ちされた実学的・実践的視点を修得することで、学術文化の向上と社会の発展に貢献することができる人材を育成することを教育の目的とします。

〔理工学部〕

人文科学や社会科学の幅広い教養と倫理観、理工の基礎力と各専攻専門領域に関する知識、技術、能力を基盤に、「理学」「工学」を俯瞰的に見つめる幅広い視野、客観的な観察、論理的・創造的な思考力により、新たな価値を作り出し、社会の発展に貢献しようとする技術者、研究者を育成することを教育の目的とします。

〔社会学部〕

全学生が共通して「社会学」に関する基礎知識を身につけた後、「現代社会学コース」「メディア社会学コース」「社会心理学コース」の3つのコースのいずれかに分属し、そのコースの専門分野の学びを中心に、3コースの基礎的概念や、他コースの専門科目の履修を通じ、幅広い知識、視野を身につける教育課程を編成して、社会が抱える課題の解決に意欲的に取り組み、社会の発展と幸せな暮らしの創造に貢献する人材を養成すること教育の目的とします。

■卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

大和大学は、教育の目的に定める人材を育成するため、所定の期間在学し、所属学部において定める共通基礎科目および専門教育科目に関する所定の単位を修得し、以下の能力・資質を身に付けたと認定した学生に学位（学士）を授与します。

1. 学士としてふさわしい、幅広い教養と視野を有している。
2. 各専門分野について高度な知識・技術・見識を有している。
3. 豊かな人間性と広く、偏らない視野を備えている。
4. 社会の発展に貢献することができる意欲と能力を有している。

また、各学部等の卒業認定・学位授与の方針を次のように定めます。

[教育学部]

教育学部では、卒業認定・学位授与の方針として、以下の学修成果を獲得することを求めます。

1. 教育に情熱を注ぎ、常に学び続けようとする姿勢を有していること。
2. 豊かな人間性と開かれた社会性を持ち、対人関係を適切に構築できること。
3. 偏りのない基礎的な教養と、教育の専門職としての高度な知識及び技能を有し、それを活用できること。
4. 幼稚園教員にあつては小学校や保育所等との連携を想定し、小学校教員にあつては幼稚園や中学校等との連携を想定して、地域社会のネットワークの中で子育て支援などの時代や社会の要請に応じる力を有していること。
5. 中学校及び高等学校教員にあつてはそれぞれ専攻する教育の実践において、リーダー的存在として活躍することができること。

[保健医療学部]

〈看護学科〉

保健医療学部看護学科では、卒業認定・学位授与の方針として、以下の学修成果を獲得することを求めます。

1. 豊かな人間性と幅広い教養、自他の人権の尊重を基盤とした価値観を持っていること。
2. 場面に応じた適切な判断力や、様々な課題に対応する専門的な視野を有していること。
3. コミュニケーション能力とそれに基づく協調性とリーダーシップを身につけていること。
4. 高い専門的知識・技術と論理的思考力を持った看護師として社会に貢献することができること。

〈総合リハビリテーション学科〉

保健医療学部総合リハビリテーション学科では、卒業認定・学位授与の方針として、以下の学修成果を獲得することを求めます。

1. 豊かな人間性と幅広い教養、自他の人権の尊重を基盤とした価値観を持っていること。
2. 場面に応じた適切な判断力や、様々な課題に対応する専門的な視野を有していること。
3. チーム医療におけるセラピスト職の専門性と役割を理解し、その一員としての協調性、連帯意識を持っていること。
4. 高い専門的知識を持つセラピストとして社会に貢献することができること。

[政治経済学部]

政治経済学部では、卒業認定・学位授与の方針として、以下の学修成果を獲得することを求めます。

1. 現代社会、国際社会を広く俯瞰するための専門領域に偏らない広範な知識と教養を身に付けること。
2. 現代社会、国際社会が抱える多くの問題を解決するための洞察力と政治学、行政学、経済学、経営学のそれぞれの専門分野における深い専門的知識を身に付けていること。
3. 将来にわたって社会に寄与することのできる多角的な視野、柔軟な発想、行動力、そしてコミュニケーション能力を身に付けていること。
4. 自他の人権尊重の精神を価値観とする豊かな人間性を備えていること。

[理工学部]

理工学部では、卒業認定・学位授与の方針として、以下の学修成果を獲得することを求めます。

1. 技術者、研究者として新たな価値の創造や社会の発展に貢献するため、専門領域に偏らない幅広い教養と視野を身に付けること。
2. 「理学」「工学」を俯瞰的に見つめるため、学科共通となる基礎力、各専攻の専門領域に関する知識、技術、能力とともに、他分野の知識、技術を有し、それらを融合させる論理的、創造的思考力を身に付けること。
3. 専門的な知識、技術、能力を有するだけでなく、技術者、研究者としての責任感、使命感、倫理観を身に付けること。
4. 「理学」「工学」全般の知識、技術、能力を活かし、幅広い視野で他者と協調して課題の解決にあたり、社会の発展に貢献する意欲を身に付けること。

[社会学部]

社会学部では、卒業認定・学位授与の方針として、以下の学修成果を獲得することを求めます。

1. 社会学および関連分野に関する概念、理論、基礎的知識を有していること。
2. 社会現象を解明するための社会調査に関する基礎的知識を有していること。
3. 社会学的な視点、思考力を身につけ、論理的、実証的に思考、判断できること。
4. 情報を収集、考察し、自らの考えを発信することができること。
5. 社会学に深い関心をもち、意欲的に学ぼうとする姿勢を有すること。
6. 他者と協力して、より良い社会の創造に貢献することができること。

なお、上記 1～6 の方針を、2 年次に分属する 3 コース（「現代社会学コース」「メディア社会学コース」「社会心理学コース」）それぞれの学びに応じて示すと、次のようになります。

「現代社会学コース」

1. 家族、産業、環境、地域、文化等の現代社会学に関する概念、理論、基礎的知識を有していること。
2. 社会現象を解明するための社会調査に関する基礎的知識を有していること。
3. 社会学的な視点、思考力を身につけ、論理的、実証的に思考、判断できること。
4. 情報を収集、考察し、自らの考えを発信することができること。
5. 現代社会の諸現象に深い関心をもち、意欲的に学ぼうとする姿勢を有すること。
6. 他者と協力して、より良い社会の創造に貢献することができること。

「メディア社会学コース」

1. メディアの社会的機能や現代的課題、また関連分野に関する理論、基礎的知識を有していること。
2. 社会現象を解明するための社会調査に関する基礎的知識を有していること。
3. 社会学的な視点、思考力を身につけ、論理的、実証的に思考、判断できること。
4. 情報を収集、考察し、自らの考えを発信することができること。
5. 社会におけるメディアの役割、課題、可能性に深い関心をもち、意欲的に学ぼうとする姿勢を有すること。
6. 他者と協力して、より良い社会の創造に貢献することができること。

「社会心理学コース」

1. 個人、対人、集団、文化等の社会心理学に関する概念、理論、基礎的知識を有していること。
2. 社会現象を解明するための社会調査に関する基礎的知識を有していること。
3. 社会学的な視点、思考力を身につけ、論理的、実証的に思考、判断できること。
4. 情報を収集、考察し、自らの考えを発信することができること。
5. 社会現象と人間の行動に深い関心をもち、意欲的に学ぼうとする姿勢を有すること。
6. 他者と協力して、より良い社会の創造に貢献することができること。

■教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

大和大学は、学位授与の方針に掲げる知識・技能などを修得させるため、共通基礎科目及び専門科目を以下の方針に則って体系的に編成します。

1. 幅広い視野を獲得し、広く教養と知性を磨くための共通基礎科目を配置する。
2. 高度な専門的知識と判断力を備えるためそれぞれの専門分野にとって必要な専門科目を配置する。
3. 豊かな人間性を涵養するために道徳・情操教育に配慮した科目を配置する。
4. 自己研鑽と社会貢献に対する意識向上のための指導を行う科目を配置する。

また、それぞれの学修成果については履修規程に則り、試験や日常の学習姿勢に関する一定の評価基準に基づいて厳格に評価します。

また、各学部等の教育課程編成・実施の方針を次のように定めます。

[教育学部]

教育学部では、目標とする学修成果を獲得するために、以下の方針に則った教育課程を編成・実施します。

1. 教育の専門職にふさわしい基礎的な教養を身に付ける科目を置き、また、外国語について学ぶ科目を置く。
2. 教育の専門職として必要な知識及び技能を養成するための基礎となる教職の意義、教育の原理・制度・歴史、子どもの成長や発達についての学問的理解、教科の基礎を学ぶ科目を置く。
3. 教職や教科の基礎となる科目を深化・発展させるべく、教科内容についての幅広く深い理解、子どもの発達段階に応じた適切な助言・指導を行える実践力、指導法についての専門的知識及び技能、そして情熱を持って授業を実践し先導する力を養成する科目を置く。
4. 生徒指導及び進路指導や学級経営を適切に行うために必要な豊かな人間性や社会性を身に付ける科目を置く。
5. 初等教育から中等教育への接続の意義・重要性に鑑み、主たる免許資格以外の教育内容を学修することにより複数免許の取得ができるように教育課程を編成する。
6. 特別支援教育の意義重要性に鑑み、その基礎となる科目についてはすべての専攻において必修科目として置く。

[保健医療学部]

〈看護学科〉

保健医療学部看護学科では目標とする学修成果を獲得するために、以下の方針に則った教育課程を編成・実施します。

1. 豊かな人間性を涵養し看護実践に必要な知識・技術の基礎を修得するために、1年次より専門基礎科目を配置する。
2. 各領域の専門科目は4年間で実践能力を獲得できるように講義－演習－臨地実習を配置し専門知識と技術を深化させる。
3. 他職種との連携・協働や地域社会への貢献に関する科目を効率的に学べるように連続性及び階層性を持たせて配置する。
4. 3年次から希望者は看護師養成課程に加えて保健師養成課程または助産師養成課程を選択できる。
5. カリキュラム全体を通して、高い職業倫理を身につけるために適切な科目を配置する。

〈総合リハビリテーション学科〉

保健医療学部総合リハビリテーション学科では目標とする学修成果を獲得するために、以下の方針に則った教育課程を編成・実施します。

1. 豊かな人間性を涵養しリハビリテーション実践に必要な知識・技術の基礎を修得するために、1年次より専門基礎科目を配置する。
2. 各分野の専門科目は4年間で実践能力を獲得できるように講義－演習－臨地実習を配置し専門知識と技術を深化させる。
3. 他職種との連携・協働や地域社会への貢献に関する科目を効率的に学べるように連続性及び階層性を持たせて配置する。
4. カリキュラム全体を通して、セラピストの役割を理解し高い職業倫理を身につけるために適切な科目を配置する。

[政治経済学部]

政治経済学部では目標とする学修成果を獲得するために、以下の方針に則った教育課程を編成・実施します。

1. 幅広い知識を修得し、複眼的、俯瞰的視野を身に付けるために共通基礎科目を設けて教養の修得を図るとともに、学科ごとの専門科目以外の他学科の専門科目も広く履修可能にし、政治学・経済学に関する幅広い知識と見識を備えられるよう配慮する。
2. 政治・行政・経済・経営の専門となる各分野について、高度な専門知識・学識を修得するために、必要となる専門科目を配置するとともに、3年次・4年次においては学生個々の研究テーマに沿った主体的な学修が可能になるよう卒業論文作成のための指導を行う。
3. 社会に貢献する人材としての資質を獲得するため、キャリア教育のための必修科目を4年間を通じて配置し、様々な実務経験者からの体験から学ぶとともに、グループワークや実践体験等のアクティブラーニングを通じて、主体性、協調性、コミュニケーション能力などの社会人としての基礎力が獲得できるよう配慮する。
4. 学部定員が少人数である点を活かした担任による学生の個別指導や、卒業論文指導担当教員による指導を通じて、学生と教員との密接な関係性を築くことによって、学業のみならず、豊かな人間性を獲得するための教育を行う。

【理工学部】

理工学部では目標とする学修成果を獲得するために、以下の方針に則った教育課程を編成する。

1. 「理学」「工学」に共通する理工の基礎力を育成することを目的に、全専攻共通の基礎系科目を配置するとともに、幅広い教養と視野の育成を目的に、専攻を横断、融合した科目を配置する。
2. 専門領域に関する知識、技術とともに、それらを活用し課題解決に取り組む能力を身につけることを目的に、専攻専門科目を開設するとともに、「理学」「工学」領域を俯瞰的に見つめる幅広い視野を養成することを目的に、他専攻の専門科目の履修を必修科目として設定する。
3. 技術者、研究者としての責任感、使命感、倫理観を身につけることを目的に、社会人として必要な教養、外国語、情報リテラシーに関する科目を配置するとともに、グループワークなどのアクティブラーニングを通じて主体性、協調性、コミュニケーション力を身につけることができるようにする。
4. 各専攻の専門的知識や技術をもとに、他者と協調して実社会で自らの社会的役割を果たす力を養成することを目的に、専攻融合によるPBL活動を展開する実践演習科目を開設するとともに、専門分野の研究を通じ、情報科学の知識、技術を社会貢献に活かすことを目的とした卒業研究を配置する。

【社会学部】

社会学部では、目標とする学修成果を獲得するために、以下の方針に則った教育課程を編成・実施します。

1. 「社会学」に関する専門的な学びを展開する基礎となる視野、教養、コミュニケーション能力や、心身の健康の増進、アカデミックスキル、キャリア意識の養成を図ることを目的とする授業科目を配置する。
2. 「社会学」に関する基礎的な知識、及び現代社会学、メディア社会学、社会心理学の専門の学び、及び「社会学」を学ぶうえで基盤となる知識、視野の導入、調査・分析の知識方法や技術、「社会学」を学ぶうえで基盤となる知識を養成することを目的とする授業科目を配置する。
3. 「現代社会学」「メディア社会学」「社会心理学」の各コースの専門分野に関する知識、能力や、関連隣接する知識、能力を養成することを目的とする授業科目を配置する。
4. 社会の諸問題、課題をテーマに、調査研究、議論、発表する取り組みを通じ、課題解決の方法や社会に貢献する意欲を養成する「基礎演習」「専門演習」の授業科目を配置する。
5. 研究テーマを掲げ、研究を深めることによって、課題解決能力や、将来進路に対する意識を養成する「卒業研究」の授業科目を配置する。
6. 免許・資格取得に必要な選択科目を配置する。

なお、上記1～6の方針を、2年次に分属する3コース（「現代社会学コース」「メディア社会学コース」「社会心理学コース」）それぞれの学びに応じて示すと、次のようになります。

「現代社会学コース」

1. 「社会学」に関する専門的な学びを展開する基礎となる視野、教養、コミュニケーション能力や、心身の健康の増進、アカデミックスキル、キャリア意識の養成を図ることを目的とする授業科目を配置する。
2. 現代社会学の専門的な学びの基盤を養成することを目的とする授業科目を配置する。
3. 「現代社会学」コースの専門分野に関する知識、能力を養成することを目的とする授業科目を配置する。
4. 社会の諸問題、課題をテーマに、調査研究、議論、発表する取り組みを通じ、課題解決の方法や社会に貢献する意欲を養成する「基礎演習」「専門演習」の授業科目を配置する。
5. 研究テーマを掲げ、研究を深めることによって、課題解決能力や、将来進路に対する意識を養成する「卒業研究」の授業科目を配置する。

6. 免許・資格取得に必要な選択科目を配置する。

「メディア社会学コース」

1. 「社会学」に関する専門的な学びを展開する基礎となる視野、教養、コミュニケーション能力や、心身の健康の増進、アカデミックスキル、キャリア意識の養成を図ることを目的とする授業科目を配置する。
2. メディア社会学の専門的な学びの基盤を養成することを目的とする授業科目を配置する。
3. 「メディア社会学」コースの専門分野に関する知識、能力を養成することを目的とする授業科目を配置する。
4. 社会の諸問題、課題をテーマに、調査研究、議論、発表する取り組みを通じ、課題解決の方法や社会に貢献する意欲を養成する「基礎演習」「専門演習」の授業科目を配置する。
5. 研究テーマを掲げ、研究を深めることによって、課題解決能力や、将来進路に対する意識を養成する「卒業研究」の授業科目を配置する。
6. 免許・資格取得に必要な選択科目を配置する。

「社会心理学コース」

1. 「社会学」に関する専門的な学びを展開する基礎となる視野、教養、コミュニケーション能力や、心身の健康の増進、アカデミックスキル、キャリア意識の養成を図ることを目的とする授業科目を配置する。
2. 社会心理学の専門的な学びの基盤を養成することを目的とする授業科目を配置する。
3. 「社会心理学」コースの専門分野に関する知識、能力を養成することを目的とする授業科目を配置する。
4. 社会の諸問題、課題をテーマに、調査研究、議論、発表する取り組みを通じ、課題解決の方法や社会に貢献する意欲を養成する「基礎演習」「専門演習」の授業科目を配置する。
5. 研究テーマを掲げ、研究を深めることによって、課題解決能力や、将来進路に対する意識を養成する「卒業研究」の授業科目を配置する。
6. 免許・資格取得に必要な選択科目を配置する。

■入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

大和大学は、教育の目的に定める人材を育成するため、次のような能力・資質を備えた学生の入学を受け入れません。

また、このような学生を適正に選抜するため、多様な観点からの評価を行います。

1. 高等教育にふさわしい十分な基礎学力を有する人。
2. それぞれの専門分野に対する強い関心と学習意欲を有する人。
3. 広く社会に貢献する意欲と精神を有する人。
4. 自らの力を研鑽することで未来を切り拓く強い意欲と意志を持った人。

また、各学部等の入学者受入れの方針を次のように定めます。

[教育学部]

教育学部では、以下に掲げる資質・能力を備えた学生を受け入れます。

1. 高等学校における課程の修了時点で相当する基礎的な学力を有する人。
2. 教職に強い関心があり、教員に求められる専門的知識及び技能を身に付けようとする人。

3. 学んだことを広く人と交流する中で生かそうとし、また、そこから新しいことを学ぶことができる人。
4. 教育的愛情を持ちながら子どもと接し、子どもを育成することに使命感を持っている人。

[保健医療学部]

〈看護学科〉

保健医療学部看護学科では、以下の能力・資質を備えた学生を入学者として受け入れます。

1. 人間・健康・医療に関心を持つ人
2. 看護学を学ぶ強い意欲と基礎学力を持つ人
3. 思いやりの心を持って他人と接することができる人
4. 自己研鑽と他者との協力によって社会に貢献しようとする人

〈総合リハビリテーション学科〉

保健医療学部総合リハビリテーション学科では、以下の能力・資質を備えた学生を入学者として受け入れます。

1. 人間・健康・医療に関心を持つ人
2. リハビリテーション学を学ぶ強い意欲と基礎学力を持つ人
3. 思いやりの心を持って他人と接することができる人
4. 自己研鑽と他者との協力によって社会に貢献しようとする人

[政治経済学部]

政治経済学部では、以下の能力・資質を備えた学生を入学者として受け入れます。

1. 高等教育を受けるにふさわしい基礎的学力を備えている人。
2. 社会の動向に関心を持ち、問題解決のための方策を考えることのできる人。
3. 創造力と開拓精神に富み、社会に貢献したいという意欲を持つ人。
4. 多様な意見を尊重することのできる人。

[理工学部]

理工学部では、以下の能力・資質を備えた学生の入学を受け入れます。

1. 理工分野の高等教育を受けるにふさわしい基礎的学力を有する人。
2. 理工分野に対する関心と、学びへの意欲をもち、課題にねばり強く取り組む姿勢を有する人。
3. 自ら積極的に関わろうとする姿勢、創造的な発想を有し、人と協力して社会の発展に貢献する意欲のある人。
4. 幅広い視野でものごとを捉え、論理的に思考し、適切に判断することができる人。
5. 感性豊かに物事を捉え、情報をまとめて、伝えたいことを相手に的確に表現することができる人。

[社会学部]

社会学部では、以下に掲げる資質・能力を備えた学生を受け入れます。

1. 高等学校における基本的な教科を幅広く理解し、大学で学んでいくうえで必要な基礎的な学力を身につけている人。
2. 大和大学および社会学部の教育理念、教育内容を理解し、学びに対する意欲を有する人。
3. 現代社会の諸現象、メディアの役割や課題、社会現象と人間行動に関心を有する人。
4. 他者と協調して課題を解決し、社会の発展と幸せな暮らしの創造に貢献しようとする意欲を有する人。